



みてはいよ!!

第58回
全国保育問題研究集会・熊本集會



熊本集會まで、あと

120日



特別講座紹介 No3

「こうのとりのゆりかご」 11年を終えて

講師：蓮田太二さん（慈恵病院 理事長兼院長）

マザーテレサの言葉で「愛の反対は憎しみではありません。無関心です。無関心であってはなりません。だからあなた方は身近なことからできることをしてください」があります。熊本で立て続けに3人の赤ちゃんが捨てられ2人がなくなりました。蓮田先生はドイツの赤ちゃんポストが日本にもあれば…赤ちゃんが助かったのに…。「こうのとりのゆりかご」設置するにあたり反対の電話や報道が殺到したそうです。何とかして助けたかったのち、危機に瀕する母親たちの悩み——長年産婦人科医として勤務する中で接した現実と、そこで感じた様々な思い、命を助けるだけでなく、「特別養子縁組」にも力を入れ、子どもの幸せを願って子どもを愛し、養育を強く願っている家庭に託しています。

水俣病とこどものいのち

講師：花田昌宣さん（熊本学園大学 水俣学研究センター）

水俣病が発見された当時、医学的には「胎盤は毒物を通さない」というものでした。人類の何万年という歴史の過程で母親の胎盤は胎児を毒物からしっかり護ってきました。しかし、人類の科学技術は私たちの暮らしを豊かに便利にしてきたと同時に未来のいのちを破滅させるような問題が起きてしまいました。

花田先生は、1999年に原田正純先生と共に水俣学研究プロジェクトを立ち上げられました。水俣病が発生した地元の大学として、人類の経験した公害・負の遺産に学び、将来に活かすために何が必要かを伝えるため、熊本学園大学で授業をされています。今回の特別講座でも、公害の原点と子どものいのちについて語ってくださいます。

日々、子どもの命と向き合う私たちにとって、子どものいのち、幸せとはなんなのか…。

みなさまと学びを深めたいと思います。

開催地、熊本ならではの

2つの講座です。

提案検討会をしました!



熊本からは17本の提案が出されます。3回に分けて事前検討会を行いました。熊本の保育仲間が集まりじっくりと討議しました! 集會当日は全国の皆様と学び合えるのが楽しみです!



いよいよ熊本集會の申し込みがはじまりました!

たくさんのご参加、お待ちしております



お詫び申し上げます

集會案内申し込み用紙に弁当欄が抜けていました。訂正した申し込み用紙を送らせていただいていますのでそちらをご利用下さい。インターネットでのお申し込みが手数料不要で便利です。大変ご迷惑をおかけしています。よろしくお願いいたします。

『～だけん』

- (例文)
- だけん、言いよってしょうが。
⇒だから言っているじゃないの。
 - それ、うちのだけん
⇒それ、私のだから



新年会をしました!

みんな仲良し!

熊本県